

Hospital Concert

ヴァイオリニスト千住真理子 *Xmas* スペシャルコンサート



(C)bmb

ピアニスト 丸山 滋



(C) Kiyotaka Saito (SCOPE)

【日時】2017年12月21日(木) 17:00~17:40

【場所】がん研有明病院 1階ホスピタルストリート



がん研有明病院
THE CANCER INSTITUTE HOSPITAL OF JFCR

【プログラム】

♪. 黒人霊歌
♪. J.S.バッハ／グノー
♪. シューベルト
♪. アルビノーニ
♪. モーツァルト
♪. モーツァルト

アメイジング・グレイス
アヴェ・マリア
アヴェ・マリア
アダージョ
アヴェ・ヴェルム・コルプス
ピアノ・ソナタ 第11番より

アンダンテ・グラツィオーソ～トルコ行進曲

* 曲目が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【演奏者プロフィール】



(C) Kiyotaka Saito (SCOPE)

せんじゅ まりこ
ヴァイオリン: 千住真理子

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&バルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。

2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。

著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)、「歌って、ヴァイオリンの詩2」、「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)、「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)、母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)、「命の往復書簡2011～2013」(文藝春秋社)、「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>



(C) bmb

まるやま しげる
ピアノ: 丸山 滋

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。

1992年よりドイツ学術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・プフィッツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。その後若い演奏家たちと様々な国際的経験を積んだ後、1995年に活動の場を日本に移す。

帰国後はソプラノの鮫島有美子、テノールの吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD、DVD、放送など様々な機会でも盛んな共演を続けている。

1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催「演連コンサート93」として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降ソロ、室内楽、歌曲とピアノに関わる幅広い分野での活発な活動を行っている。

2014年、札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル～死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。

東京藝術大学において室内楽科非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科およびピアノ科非常勤講師。

【ホスピタルコンサートのご報告】



2017年ホスピタルコンサートの最後を飾っていただいたのは、ヴァイオリニストの千住真理子さんとピアニストの丸山 滋さんによるクリスマスコンサートです。2016年のクリスマスに開催したサンタクロースの病室訪問イベントの際に、「クリスマスに千住さんのヴァイオリンが聴きたい…」と入者さんからご意見をいただき、千住さんにご連絡を差し上げたところ、快くお引き受けいただき、1年越しでの実現となりました。

当日は沢山の患者さんやご家族の方が列を作ってお待ちくださるほどで、あっという間に満席となり立ち見でご覧いただいた方も大勢いらっしゃいました。クリスマスの雰囲気ピッタリの素敵なプログラムで、ヴァイオリンとピアノの音色に会場の皆さんも心穏やかなひとときを過ごすことができました。

千住さん、丸山さん、本当にありがとうございました！！